

SNS 上における暴力行為等の動画の投稿・拡散

近年、SNS 上での動画投稿や拡散が子どもたちの生活にも影響を及ぼしています。本校では、暴力行為等を撮影・拡散することの危険性や、相手を思いやる心の大切さについて指導を行うとともに、情報モラルについての指導も継続して実施していきたいと考えています。ご家庭でも話題にいただければ幸いです。また今回は、全校児童向けに私からのメッセージを動画にして各クラスに配信をしましたのでここでご紹介いたします。



たたく・ける・ひどい言葉はぜったいにダメ



- ・遊びのつもりでも、ふざけていても、される人の心や体は、深くきずつきます。
- ・「つらい」とか「いやだ」と感じるものさしは一人一人長さがちがいます。自分はいくらいいじょうぶというのは友達には通用しません。

安全な学校はだれがつくる？

- ・学校を安全にするのは先生だけではなく、みなさん一人一人のきょう力がひつよう
- ・いやなことをしない
- ・いやなことを見たら、止める
- ・こまっている人を助ける



人をきずつけると…



- ・人をきずつけることは大きな問題になる
- ・これは、学校のルールだけでなく、社会のルールにも関わることです。大人になってからも、とても重い問題になります。だからこそ、今、ここで学ぶことが大切なのです。

うわさ・動画・書きこみ

- ・悪いうわさや、いじめ・暴力の動画などの投稿や書きこみは相手の心を何度もきずつける
- ・そして全てを後で消すことはとてもむずかしい



最後に・・・



- ・こまったら一人でかえこまない
- ・いやなことをされた
- ・友だちがこまっている
- ・どうしたらいいかわからない
- ・そんなときは、必ず大人に話してください。



やさしさが一番つよい力

SNS は社会に存在する現実です。しかし、小学生はまだ成長の途中であり、デジタル上の「不可逆性の理解」(一度ネットに出したものは、なかったことには戻せない)については学校とご家庭でそれぞれ話をしていく必要があると思います。ご協力よろしくお願いいたします。